

パシフィックコンサルタンツ株式会社 様

全社の組織再編を契機に、 ファイルサーバのアクセス権限を見直し アクセス権限最適化ツールVaronis DatAdvantageで 膨大な移行作業に対応

Mission

- 全社の組織再編にあたり、アクセス権限の再設定が必要
- ファイルサーバの効率的な管理、データ保全の仕組みを確立したい
- ファイルサーバのアクセス権限における棚卸しを定期的に行いたい

全社の組織再編に対応するには本格的なアクセス権管理ツールが不可欠

日本各地に拠点を持つ総合建設コンサルタント、パシフィックコンサルタンツ株式会社では、全社共有のファイルサーバを2箇所に設置し、1,400名以上の社員が日々の業務に活用している。しかし、同社ではファイルサーバのアクセス権管理が課題になっていた。ファイルサーバには、それぞれの事業所や部署で使用する共有フォルダを作り、各社員には関係する共有フォルダに対するアクセス権限が付与されている。しかし、長年運用しているうちにファイルサーバのアクセス権限の付与状況は非常に複雑になっていた。

その理由の一つは、部署間の人事異動だ。同社では異動が多く、その度に一人ひとりに付与されるアクセス権が増えていった。また、部署を横断する新プロジェクトが動けば、そのプロジェクト用の共有フォルダを作り、異なる部署の社員が利用できるようにしなくてはいけない。パシフィックコンサルタンツ株式会社 経営企画本部 経営情報部の高部 広昭氏は、当時の問題を次のように語る。

「人事異動や新プロジェクト立ち上げがあれば担当部署からアクセス権限付与の申請が届きますが、不要になっても削除の申請が来るとは限りません。つまり、アクセス権限の足し算ばかりで引き算がない。これが長年繰り返された結果、ファイルサーバの管理業務が肥大化していきました。私たちIT基盤を管理するスタッフは、適切な運用ができるように体制を見直す必要性を感じていました」

アクセス権管理見直しの必要性を強く実感したのが、2011年5月にファイルサーバのリプレイスを行った時だった。データを新しいファイルサーバへ移行す

る過程で、アクセス権限情報の一部が引き継げない事態が発生してしまったのだ。

「会社の業務に影響がないようにゴールデンウィーク中にリプレイスを行ったのですが、手作業によるアクセス権限の修正に時間が掛かり、最後の数日は徹夜になりました。負担を軽減するための簡易的なアクセス権管理ツールを利用したのですが、その機能はアクセス権限の状況を機械的にリスト化するだけなので、実際には『アクセス権限を設定した後に、別の人間が目視で確認する』という無駄な手間が掛かっていたのです」

そのようにして5月のファイルサーバのリプレイスはスタッフの尽力で乗り切ったが、2011年10月に実施される全社の組織再編はさらに大掛かりな作業が予想された。主に地域単位で分けていた事業部を、全国規模で業務分野単位に組織し直し、組織構造も縦割りから横連携へと大きく変更されることが決まったのだ。この組織再編によって、ファイルサーバの管理にも大きな変更が求められたのである。

「2011年5月のリプレイスでさえ大変な負担が掛かりましたが、この組織再編ではそれ以上の作業が発生することは明らか。前回と同じ体制で臨めばアクセス権限の設定が間に合わず、業務に影響を及ぼすことが目に見えていました。これを乗り切るには、アクセス権限を管理するための本格的なツールが必要と考えて上司に相談しました。そして私たちが求める機能を持つツールを探したところ、唯一条件にあったのがノックスさんの扱っているVaronis DatAdvantageでした」(高部氏)



パシフィックコンサルタンツ株式会社

1951年創業の総合建設コンサルタントの大手
社員数1,460人(2011年9月1日現在)
北海道から沖縄まで、全国各地に拠点を置き、都市・
地域計画、環境、道路や河川のインフラ整備など、
幅広い分野にわたって業務を行っている。

〒206-8550
東京都多摩市関戸一丁目7番地5
(せいせきC館)

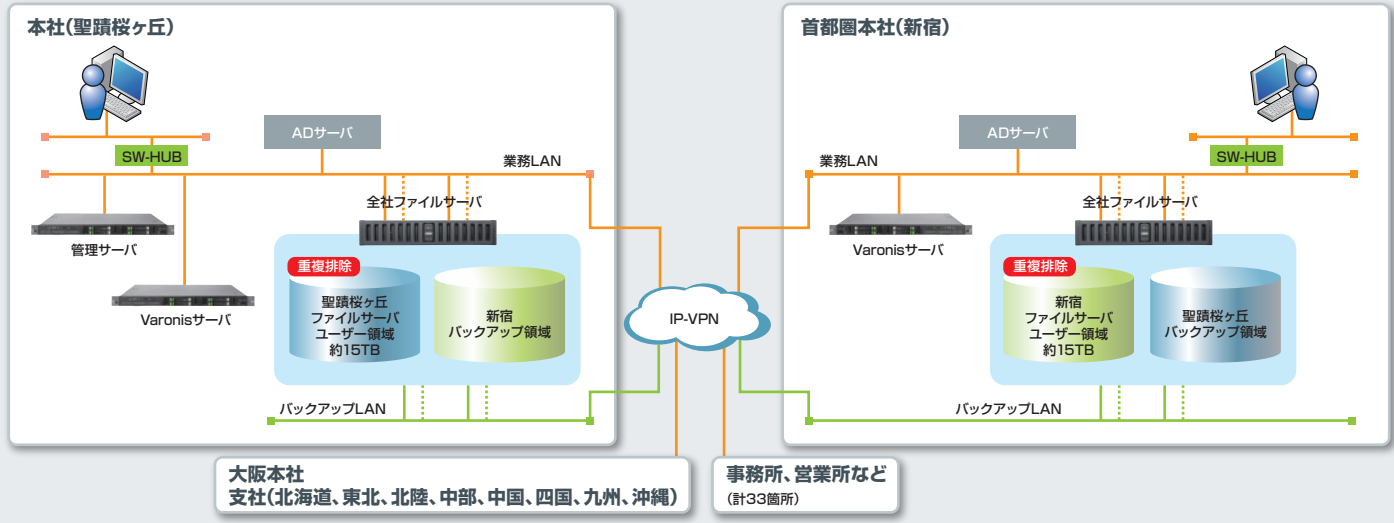
<http://www.pacific.co.jp/>



パシフィックコンサルタンツ株式会社
経営企画本部
経営情報部

高部 広昭 氏

全社ファイルサーバ全体構成図(聖蹟桜ヶ丘、新宿)



Varonis DatAdvantage導入で業務への影響を最小限に抑え、組織再編に対応

高部氏にDatAdvantageを紹介したのは、同社のシステム構築において長年パートナーとして関わりを持っていたSlerだった。「高部様のご要望は、管理効率化のためにADの情報を直接変更できる機能を持つアクセス権管理ツールでした。DatAdvantageはADと連携しているので、DatAdvantageでADの設定を読み取り、変更することができます。いちいちツールを切り替えながら作業する必要がなく、

ミスも回避できます。このようにADとの強力な連携機能を持つツールは他になかったため、DatAdvantageを提案しました」(Sler) Slerが自信を持ってDatAdvantageを紹介できたのは、高部氏の要望に応えられる唯一の選択肢だったからだけではない。DatAdvantageの代理店であるノックスのサポートに信頼をおいていたことも大きな要因だった。「高部様には、ITシステムに対する将来計画を提

示して頂いていた。私たちもDatAdvantageの性能を検証しましたが、ノックスさんにも『高部様のビジョンに合った機能や使い方があるか』を細かに相談し、回答を得ることができました。そのため私たちも安心して提案できたのです」(Sler) そしてDatAdvantageを導入した結果、組織再編に合わせたファイルサーバのアクセス権限の設定をスムーズに行うことができたのだ。

日常業務上でも問題を早期に発見し、アクセス権限の管理を効率化

高部氏が高く評価したDatAdvantageの機能は、問題を発見しやすいグラフィカルなアクセス権管理機能と、利用状況の分析機能だった。異動の度にアクセス権限を追加していくと、1ユーザーが1つの共有フォルダに対し二重三重にアクセス権限を付与されがちだ。DatAdvantageはユーザー、グループ、ディレクトリ情報を1画面に表示して確認できるので「ユーザーとしても、グループとしてもアクセス権限を二重に付与されている設定の無駄」などがすぐに把握できる。ADを使ってアクセス権限を設定していた頃は、共有フォルダに対してアクセス権限を持つグループを見ることができ、グループに所属するユーザーは別画面で確認することになり状況把握が面倒だった。また、アクセスログの管理機能も持つDatAdvantageは、利用実績から「最近利用し

ていないユーザー」を抽出するのも容易だ。「部署異動の際にアクセス権限を変更するというのは、以前の設定を削除し、新しいアクセス権限を付与すればいいという単純な話ではありません。業務の引き継ぎがありますから、一定期間は以前のアクセス権限も残しておく必要はあります。いつまで残すかは状況によって変わってきますが、DatAdvantageは常にログを見ているので、担当者から申請されなくても利用しなくなった時期がわかります」(高部氏) 高部氏は、ツール選定で重視するポイントに自社での運用を想定することを挙げている。以前は機能とコストを比較してツールを選ぶことが多かったというが、実際の運用を想定しないとどんなに優れたツールでも使われなくなるからだ。その点でもDatAdvantageは高部氏の厳しい選定基準をクリアしたことになる。

「企業にとって情報のセキュリティはお金に換算できないほど重要なものです。DatAdvantage導入によって、共有フォルダに対するアクセス権限を確実に設定できるようになりましたから、セキュリティ、データの保水性も高まりました。それに、アクセスログのレポート機能を使えば、当社のお客様に対して『部外者からの閲覧がない、持ち出しがない』ことを証明できます。また、アクセスされなくなったファイルを発見したり、その必要性を判断して不要であれば削除したりするなど、有限であるファイルサーバを有効利用していくことができます。」(高部氏) 今回は組織再編のためにDatAdvantageを利用したわけだが、今後高部氏は日常的にも当該製品を活用し、ユーザーの利便性と情報セキュリティを確保した上でファイルサーバの運用効率化を目指している。

発売元

NOX ノックス株式会社
www.nox.co.jp

本社 〒152-0023 東京都目黒区八雲2-23-13 Tel. 03-5731-5551 Fax. 03-5731-5552
西日本支社 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-17-5 Tel. 06-4809-5544 Fax. 06-4809-5547

●本製品に関するお問い合わせ: 営業本部
●メールでのお問い合わせ: varonis@nox.co.jp

お問い合わせ先